

## 環境に配慮した取り組み

### 野鳥と高速道路との共生に向けて

- NEXCO中日本の経営施策である「環境・持続可能社会への貢献」の取り組みの一環として、エコロードを推進し生物多様性の保全に取り組んでいます。
- 東名阪自動車道の弥富IC、蟹江ICでは、毎年春になると数千羽のサギが飛来し営巣します。高速道路に野鳥が大規模なコロニーを形成する事例は全国的にも他に例がありません。
- これらのサギの営巣は、路上への急な飛来やヒナの道路横断などにつながり、交通安全上の問題を発生させる要因になっています。
- NEXCO中日本では、開発が進みサギの生息域が失われつつある中、高速道路が自然を守れる場所と考え、野鳥と高速道路との共生の道を選んで、警戒標識設置や侵入防止対策など様々な取り組みを実施しています。



営巣状況



侵入防止対策状況

- NEXCO中日本は、高速道路の機能と安全を損なうことなくサギの生息環境を保全し、自然（サギ）と人（高速道路）との共生を継続的に図っていくことを目的として、「愛知県弥富野鳥園」「日本野鳥の会愛知県支部」と、覚書を締結することとしました。

#### 調印式概要

日時 2010年8月28日(土) 10:00～10:50

場所 NEXCO中日本 名古屋支社 8F会議室  
(名古屋市中区錦2-18-19 三井住友銀行名古屋ビル)

議事次第 ・覚書内容に関する説明  
・調印

その他 高速道路本線内からの撮影を希望される場合はパトロールカーにてご案内いたしますので、NEXCO中日本名古屋支社桑名保全・サービスセンターに27日までにお申し出ください。

電話 0594-24-5001

